



『音楽は効く』

評議員

湯川れい子

幼児体験を通して、私は常に音楽に癒されてきました。

特に最も多感で病弱だった思春期に、ラジオで聴いた米軍放送のアメリカン・ポップスは、もしかしたら病院で貰う薬よりも確実に、私の心身に働きかけてくれたように思います。

『音楽は良く効く!』というのが、まさに私自身の体感であり、体験でした。

ですから、1966年6月、ビートルズが来日して東京武道館で公演をした3日間、『エレキは不良の音楽』『ビートルズのコンサートに行った者は退学』という学校も多数あり、毎日のように私の目の前で先生や警官に補導され、泣きながら連れ戻されていく少女たちを見ながら、これは絶対に違う……と、大人たちを説得する糸口を探していたように思います。そう、今なら同質の原理を始めとして、様々にレクチャー出来るでしょうに。

それから2年後のサンフランシスコで、初めて『ミュージック・セラピー』という言葉を目にして、70年代初め頃には、音楽療法をやっているというロスアンゼルス郊外のアメリカ人女性の家を訪ねたり、ドラム・サークルに参加したりもしたのですが、今から考えると、あれはちょっとヒッピーに毛が生えたような、かなり

ニュー・エイジ的な類の物だったのではないのでしょうか。

またその頃に、今では茶色に変色してしまった櫻林仁・貫行子両先生共訳の『音楽療法』(音楽の友社)を見つけて読んでいたこともあって、1992年頃からは自分が名誉校長を務めている音楽の専門学校で、貫先生のお力をお借りしながら、音楽療法のためのコースなどを立ち上げたのですが、様々な面で早すぎもし、また私の力不足もあって、6~7年で撤退を余儀なくされています。

そんな経験を通して言える事は、音楽に対するデリケートな感性が欠落したセラピーは、いかに技術的な力はあるにしても、それが音楽という目には見えない領域に働きかけるものであるだけに、時としては暴力的な苦痛さえ伴いかねないこと。また逆に、音楽的な感性やデリカシーは充分でも、医学的な知識とか配慮の点でプロと言えなければ、これまたクライアントに有形無形の損失を与えてしまいかねないという事です。

音楽療法は、まさに副作用の無い良薬であり、人間的にも社会的にも喜びをもたらす素晴らしい代替医療です。私も音楽業界に身を置く者として、これからも微力ながら、少しでも音楽療法のために、お役に立てればと思っています。

プロフィール

東京都目黒で生まれ、山形県米沢で育つ。

昭和35年、ジャズ専門誌『スウィング・ジャーナル』へ投稿。認められて、ジャズの評論家としてデビュー。その後ラジオのDJ、ポップスの評論・解説を手がけ、現在に至る。

多数の音楽雑誌にレギュラー頁を持つ他、安達裕実、アン・ルイス、杏里、稲垣潤一、大月みやこ、尾崎紀世彦、加山雄三、川中美幸、小泉今日子、小林明子、小柳ルミ子、榎原郁恵、鈴木聖美、鳥羽一郎、TUBE、中西圭三、中森明菜、中山美穂、長山洋子、西田ひかる、早見優、藤井フミヤ、布施明、松本伊代、八代亜紀、山下久美子、RATS & STAR (チャネルズ)、和田アキ子などのヒット曲の作詞も手がける。最近では、4月よりNHKから放送される手塚治虫アニメ『火の鳥』のエンディング・テーマを歌う中島美嘉の曲を作詞。

■ 日本音楽療法学会 音楽療法士（補）試験実施要項（抜粋） ■

わが国においては1997年に全日本音楽療法連盟の資格認定制度が開始されました。当時、音楽療法士養成課程を有する学校はきわめて少数であり、当然ながら試験制度は採択されませんでした。代わりに、現在にいたるまで臨床の経験を重要視した暫定的な処置による音楽療法士認定がなされてきた経緯があります。

しかし同連盟は暫定的な認定制度と並行して1996年に大学や専門学校での教育へのガイドラインとして音楽療法士養成カリキュラム96を制定しています（現在は改訂されたカリキュラム01が制定されています）。その後、幾つかの大学、専門学校などにおいてこのガイドラインを基本にした音楽療法士養成コースが設置され、近年になりそれらのコースの卒業生が誕生するようになりました。

これらの卒業生は学会が定めたカリキュラムに基づいて教育訓練を受けた者であり、これらの教育を受けていない者と

は異なる基準で資格認定が行われなくてはならないはずです。

以上の経緯により、学会により教育カリキュラムの審査を受け承認された大学や専門学校の音楽療法コースの卒業生を対象に音楽療法士（補）認定試験が2001年度より実施されることとなりました。

この試験は各受験者の音楽療法に関する全般的な知識を指定カリキュラムに基づき広い範囲にわたり尋ねるもので、受験生の基本的な知識と能力、また音楽療法士としての適性を確かめる目的で行なわれます。

この試験に合格した者は日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）の資格を得ることができます。この資格は、本人の音楽療法活動の臨床経験が3年をこえる時点で改めて学会に申請すれば（臨床事例報告審査と面接を経て）正式に音楽療法士として認定されます。

1. 試験の日時および会場：《2004年度は→2005年1月16日、日本教育会館》
2. 試験科目：音楽療法科目を中心に、カリキュラムガイドライン01に含まれている教科全般とする。
3. 受験資格：本学会から教育カリキュラムの審査を受け承認された大学ならびに専門学校等の音楽療法コースの卒業生および見込生。
4. 受験手続：
 - (ア) 本学会事務局への受験申請を行なう。なお記入に際しては戸籍に記載されている氏名を使用する。
 - (イ) 事前に受験手数料1万円を日本音楽療法学会に振り込む。
 - (ウ) 申請には①受験申請書（学会より在学の教育機関に送付されている）、受験票送付用の②返信用封筒（長形3号サイズ、自分の宛先を記入し、90円切手を貼付）、③単位取得証明書および④振込控のコピーを同封のうえ日本音楽療法学会へ送付する。
 - (エ) 受験時には受験票と本人の写真の付いた証明書（学生証、運転免許証など）を持参する。
5. 試験はマークシートを用いて多肢選択形式で合計150問（試験時間は合計2時間30分）
受験票、筆記用具（柔らかめの鉛筆と消しゴム）および時計のみ卓上に置くことができる。
6. 受験申込期間 《2004年11月15日（月）～11月29日（月）までに学会事務局へ必着》
7. 合格者の発表 《2005年2月1日（審査結果は受験者本人に文書にて通知）》

第4回日本音楽療法学会学術大会（くらしき）へのいざない

大会長 岸本 寿男

白壁の続く倉敷美観地区の枝垂れ柳の新芽も勢いづいて春もたけなわ、すがすがしい季節となりました。会員の皆様方には、新年度所頭のお忙しい中、日々の実践、研究、研鑽に励んでおられることとお慶び申し上げます。

さて、第4回学術大会（くらしき）まで残すところもう5ヶ月を切りました。支部大会とは桁違いのスケールの大きな全国大会を開催するという事で、戸惑いつつも、大会実行委員一同、一丸となって大会の成功に向けて日々準備に邁進しております。現在の進捗状況をご報告して、皆様のさらなるご協力を賜りたく存じます。

大会の内容につきましては第3次案内にも盛り込みましたように、特別講演、外国招請講演、シンポジウム、いずれも今回の大会テーマ、音楽療法の「音・音楽」の意味・役割を考える、にふさわしい大変楽しみな内容です。是非ご期待ください。また、研究発表は学術大会においてももう一つのメインとなる大変重要なものです。大会も回を重ねるにつれて発表内容のさらなる充実が求められるようになっていきます。学会のレベルも問われるものとなりますので、厳選された委員による査読を行う予定ですが、会員の皆様にはぜひ研究成果の発表にチャレンジしていただき、充実した討論がなされることを望んでおります。特に「テーマ発表」として発表をお願いしております演題テーマにつきましては、せっかくの機会ですので、ふるってお申し込みください。また、大会ではプロジェクト報告として多くの課題の中間並びに最終報告がなされます。報告内容にも大いに期待したいものです。

大会前日3日の講習会には、各分野の第一線でご活躍の中

講師陣に講義をお願いしております。多岐にわたる分野についてじっくりと研修できる貴重な機会です。定員の関係で早めにお申し込みをお願い致します。

4日の倉敷チボリ公園での会員交流会は、場所としても素晴らしいセティングですが、参加された方々の思い出に残るものにしたいと、楽しい企画を練っております。ぜひとも大勢のご参加をお待ちしています。

既にご承知のように、倉敷大会のホームページを立ち上げ、大会案内のほか講習会、学術大会の参加、ホテル予約、演題発表等の申し込み受け付けを開始しております。今回の申し込み方法につきましては、他の学会でも主流となりつつありますインターネットを活用した登録方式を導入致しました。慣れておられない方も多いかとは思いますが、抄録等の正確さを期するという点のみならず、なんと言っても事務処理の簡略化、郵送費、通信費等の節減といったメリットは計り知れません。事前登録に加えてインターネットでの申し込みにはコストの配慮も致しましたので、是非ホームページからインターネットを通じて申し込み頂くようお願い致します。なお、IT環境が整わない方につきましては、フロッピー等での申し込みも可能ですので要項をご参照ください。特に宿泊につきましては、同時期にプレ国体の開催予定もありかなり込み合うことが予想されます。倉敷のホテルは早期に満室となる可能性が高いと思われるのでお急ぎください。

今後さらに準備を整えまして、9月には、大勢の皆様を「白壁と文化の街倉敷」にお迎えしたいと思っております。

（開催9月3日～5日）

■ 2004年度講習会のご案内 ■

日本音楽療法学会教育研修委員会研修・講習部会長 村林 信行

昨年度に引き続き、音楽療法士の国家資格化問題など音楽療法を取り巻く環境はあわただしく変化しています。

全国の講習会も、学会員のニーズに答えるべく今年度もプログラムを作成中です。

講習会に関して、学会員の要望も数多く寄せられております。そのなかで、研修講習部会では以下の点に特に重点をおきながらプログラムを考えております。

- ①音楽療法士の資格認定に役立つ情報を伝える。
- ②音楽療法士の資格更新にも役立つよう、up to date な情報を発信する。
- ③音楽・医学・心理学各分野のバランスを整える。
- ④臨床現場で大切なコツを言語化する。
- ⑤一回の講習会にテーマを設け、同じテーマをさまざまな切り口で掘り下げる。
- ⑥出来るだけ参加者が直接討論に参加できる場を設ける。

この結果、2004年度は学会主催の講習会は2回開催することとしました。1回目は9月3日に中国支部が主催する第4回日本音楽療法学会学術大会の中で、川崎医療福祉大学で開催されます。岸本寿男大会長、松原秀樹講習会企画委員長のご尽力で5会場に19コマに及ぶプログラムを準備していただきました。音楽・医学・心理の各分野がバランスよく組み立てられているうえに、研究方法のプログラムが充実していることが特色です。

第2回講習会は、2005年2月26・27両日に東京の日本教育会館一ツ橋ホールで開催する予定です。第1回講習会での会員の皆様のご意見もふまえて、今後カリキュラムを煮詰める予定でおります（詳細は次号ニュースでお知らせします）。

今後、会員の研修を充実させるために学会本部と支部、さらには各教育機関が協力体制と役割分担を進める必要があるでしょう。今回はそのモデルケースとしても重要な役割を担う講習会と考えております。

会員の皆様には是非ふるって参加いただけますようご案内申し上げます。



■ 2004年度日本音楽療法学会プロジェクト研究の募集 ■

学術・研究委員会

日本音楽療法学会では2002年度より、音楽療法に関わる学術研究を振興するためプロジェクト研究を行っております。2004年度も引き続き下記の要領で研究を行うことになりました。

つきましては、障害、疾病、予防医学などの領域における音楽療法の研究を公募し、採択された研究には助成金を交付します。

1) 応募〆切：2004年8月31日

2) 研究領域

- ①実験研究
- ②臨床研究
- ③症例研究
- ④その他

3) 応募方法

所定の研究計画書を事務局に申請し、必要事項を記入のうえ提出してください。

なお、助成金は一研究につき上限100万円とし、会計報告を必要とします。

4) 審査方法

「プロジェクト研究委員会」にて審査し、理事会で採択を決定します。

5) 研究報告

採択された研究は、2005年度大会で中間報告し、2006年度大会で最終報告します。

さらに2006年度中に本学会誌へ投稿することが義務付けられます。

6) 留意事項

研究遂行にあたっては、科学的実証性を重視し、かつ本学会の倫理綱領を遵守してください。

研究計画書にコピー3部を添えて提出してください。

≪申請・応募先≫

* 研究計画書様式は A4サイズの返信用封筒に宛て先を記入して200円切手を貼り、日本音楽療法学会事務局へ請求してください。

学会事務局からのお知らせ

■ 第5回日本音楽療法学会学術大会開催決定のお知らせ

- 日 時：2005年9月9日（金）・10日（土）・11日（日）＊9月9日は講習会を行います。
 - 会 場：金城学院大学（愛知県名古屋市）
 - 大会長：柏木哲夫（金城学院大学学長）、実行委員長：都築裕治（日本音楽療法学会東海支部長）、
大会準備委員長：渡辺恭子（金城学院大学人間科学部）
 - 大会テーマ：「いのち・こころ・いやし」と音楽療法
- *多くの方のご参加をお待ちしております。

■ 2004年度資格審査、資格更新審査のお知らせ

資格審査

- 第9回の資格審査のための申請受付期間は、2004年10月1日～10月15日です。
 - *15日（水）必着
- 必ず日本音楽療法学会版の申請書（認定規則）を取り寄せて申請してください。
 - *申請書（認定規則）の取り寄せ方法
240円切手を貼った返信用封筒（A4サイズ、必ず宛先を書いてください）と500円の定額為替を同封して、事務局へお申し込みください。（会員のみが配布対象です）
 - *書類審査結果は11月下旬に通知します。なお、書類審査合格者には面接試験（12月18日（土）・12月19日（日）のいずれか1日、会場は東京）の案内が同封されます。

資格更新審査

- 今回は第4回認定者が対象となります。
- 第4回の資格更新審査のための申請受付期間は、2004年10月18日～11月1日です。
 - *1日（月）必着
- 対象となっておられる方は事務局よりお送りする申請書類（資格更新規則／同細則の日本音楽療法学会版）にて申請してください。また、申請書（資格更新規則／同細則）を紛失された方は上記、認定規則と同じ方法でお取り寄せください。
- 猶予を申請される方も上記の受付期間に申請してください。

いずれの最終審査結果も2005年2月初旬に通知されます。

また、証明書類は現物とコピーの提出となりましたのでご注意ください。現物は返却しますので、必要な切手を貼り宛先を書いた封筒（A4サイズ）を同送してください。切手の額については重量によって異なりますので郵便局にてご確認ください。なお、配達記録にて返却しますので通常料金に210円加算して切手を貼付してください。

なお、各規則の内容に関するご質問は、事務局では判断しかねますのでご遠慮ください。

§ 信越・北陸支部

【事務局】〒380-0803 長野市三輪2-4-12
TEL & FAX 026-263-7832

第1回講習会

開催日時：2004年6月12日（土）13：20～19：00
開催場所：JR金沢駅東口前 金沢都ホテルセミナーホール

第2回学術集会、支部総会

開催日時：2004年6月13日（日）9：30～16：50
開催場所：JR金沢駅東口前 石川県立音楽堂交流ホール
問合せ先：実行委員会事務局 北本福美
FAX 076-286-3341 E-mail fukumi@kanazawa-med.ac.jp

§ 東海支部

【事務局】〒453-8540 名古屋市中村区稲葉地町7-1 名古屋音楽大学内 栗林研究室
TEL 052-411-1115（代） FAX 052-413-2300（代）

2004年度第1回研修会、支部総会

開催日時：2004年10月10日（日）9：30～17：30
開催場所：名古屋音楽大学成徳館12階ホール&A402室

2004年度第2回研修会

開催日時：2005年3月20日（日）9：30～17：30
開催場所：名古屋音楽大学内
問合せ先：上記事務局

§ 近畿支部

【事務局】〒561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1-1-8 大阪音楽大学内
TEL 06-6445-1399 FAX 06-6333-0286 E-mail jmtak@guitar.ocn.ne.jp

第4回学術大会・講習会、支部総会

開催日時：2004年9月18日（土）10：30～16：15、9月19日（日）9：00～17：00
開催場所：奈良教育大学
問合せ先：〒630-8528奈良市高畑町 奈良教育大学 福井研究室内 実行委員会事務局
TEL & FAX 0742-27-9257 E-mail mtkinki@music.nara-edu.ac.jp

§ 中国支部

【事務局】〒701-0193 岡山県倉敷市松島288 川崎医療福祉大学 保野研究室内
TEL & FAX 086-463-9060 E-mail jmta-cc@mw.kawasaki-m.ac.jp

第4回学術大会・講習会、支部総会

開催日時：2005年2月19日（土）20日（日）
開催場所：山口市内（詳細未定）
問合せ先：上記事務局

§ 九州・沖縄支部

【事務局】〒807-0846 福岡県北九州市八幡西区里中3-12-12 八幡厚生病院内
TEL 093-691-3344 FAX 093-603-7213

2004年度講習会

開催日時：2004年7月17日（土）18日（日）
開催場所：大分市 大分県医師会館

2004年学術大会、支部総会

開催日時：2005年3月予定
開催場所：未定
問合せ先：上記事務局